

ケースワークを楽に！ 相談業務を効率的に！
ケアプランが変わります！

現場で重要な3つの精神障害 統合失調症・発達障害・認知症を学び直す

3つの精神障害は医療・福祉・介護の現場で最も基本的でかつ重要なものです。
統合失調症と発達障害の症状を区別していますか？ 知的能力障害と自閉症スペクトラム障害の行動特性の違いを
理解していますか？ 認知症の患者さんに助言や説得をしていませんか？
症状を理解し、見立てをきちんとすることでケースワークが楽になります。

■オンライン参加：午前10時～15時30分 ■会場参加：10時～17時（15時30分～17時は事例検討会）

6月18日(日)

統合失調症

統合失調症型障害

■統合失調症と統合失調症型障害

- 1 統合失調症の陽性症状と陰性症状を鑑別する
- 2 統合失調症型障害と家族問題付双極性障害について

■演習II. 統合失調症/模擬事例

- ①初期介入事例
- ②慢性期カウンセリング事例
- 1 統合失調症の発症の兆候を読み取り、早期の介入を試みる
- 2 慢性期の心理を理解する

8月20日(日)

発達障害

(知的能力障害と自閉症スペクトラム障害)

■「軽度」知的能力障害

- 1 発達障害の心理、行動、不適応問題を理解する
- 2 発達障害の分類と知的能力障害、境界知能の理解

■自閉症スペクトラム障害

- 1 自閉症スペクトラム障害の心理と行動を理解する
- 2 他の障害との鑑別の要点

■演習III. 模擬事例

「軽度」知的能力障害の見立て方

- 1 「軽度」知的能力障害～境界知能の領域を見極める
- 2 自閉症スペクトラム障害 模擬事例
- ①母と子、双方の面接事例
- ②見立ての鑑別が問題となった事例
カウンセリングでの訴えや言葉から自閉症スペクトラム障害を理解する

10月15日(日)

認知症

高次脳機能障害

■認知症・高次脳機能障害

- 1 認知症・高次脳機能障害
社会的地位の喪失と不適応問題を心理的に理解する

2 その対応の要点

■演習IV. 脳機能障害/模擬事例

- ①高次脳機能障害患者の家族カウンセリング事例
- ②認知症とその家族の事例
認知症とその家族の反応から家族の見立てを作り、対応を学ぶ

ご参加お待ちしております。

セミナー開催詳細案内はHCMカウンセリングセミナーホームページをご覧ください。

<https://hcm-seminar.net/>



〈参加者の感想〉

■ 統合失調症と統合失調症型障害

- ・ 毎回、目から鱗でした。日々の臨床で疑問に感じていたことが解消され、理解できるようになりました。引き続き学びを深めていきたいです。
- ・ 知的障害の母から統合失調症の子は生まれません！初耳でした。
- ・ 誤診されやすい疾患について学ぶことができ、今後の支援にかاشていきたいと思ひます。

■ 自閉症スペクトラム障害

- ・ ASD本人、ASDの家族を持つ親(または配偶者)の苦悩が、事例を通してよくわかる内容でした。
- ・ 長欠生徒やその家族についての理解を深める一助となっています。生徒達のことを思い浮かべながら拝聴することができました。

■ 認知症・高次脳機能障害

- ・ ケアマネジャーです。認知症や高次脳機能障害の方のケアプラン作成を多々行っております。今回の事例では、その家族の見立てを行うことでより良い環境調整ができることを学びました。「理解力のない家族」などとレッテルを貼られ、ケア側が困難ケースに仕立て上げてしまっていることが多くあると感じています。家族も環境の一部なので、その調整のために見立てはとても大事です。介護関係者は見立て8型を学ぶべきだと思ひました。

講師	高橋和巳	■精神科医 医学博士 1953年生 ■風の木クリニック院長(千代田区・麴町)
	野口洋一	■公認心理師 精神保健福祉士 1961年 ■あさくさばしファミリーカウンセリングルーム室長(台東区・浅草橋)

参加のご案内	■ 日程
	6月18日(日): 統合失調症と統合失調症型障害
	8月20日(日): 発達障害・自閉症スペクトラム障害
	10月15日(日): 認知症・高次脳機能障害
	■会場参加: 10時~17時(15時30分~17時は事例検討会) 会場参加費: 33,300円(上級コーステキスト第4版込み)
	■オンライン参加: 10時~15時30分(Zoomを用いたリアルタイム配信) オンライン参加費: 18,300円(上級コーステキスト第4版込み)
	■会場: 御茶ノ水ソラシティ 1階 RoomB JR御茶ノ水駅聖橋口徒歩1分 地下鉄千代田線新御茶ノ水B2徒歩2分

申し込み方法

■ HCMメンバー登録後、お申し込みください。

<https://hcm-seminar.net/>

HCMメンバー登録申請の備考欄に

「DM受取」の旨お書き添えください。



■ 参加資格

カウンセリング、ケースワーク、医療、保健、福祉、介護、教育、他の相談業務などに関わる有資格の専門職の方。

医師・保健師・看護師・精神保健福祉士・社会福祉士・介護福祉士・公認心理師・臨床心理士・産業カウンセラー等、専門資格(公的資格、民間資格を問いません)をお持ちで、守秘義務を十分に理解する方。

■ 申込受付開始

- ・ 3講座セットをお申し込みください。
- ・ 受付開始日: 2023年5月5日(金)